

平成 29 年 5 月 19 日

ブロックチェーン関連技術（分散台帳技術）を活用した 「内外為替一元化コンソーシアム」への参加について

名古屋銀行（頭取 中村 昌弘）は、SBI ホールディングス株式会社（代表取締役執行役員社長 北尾 吉孝）及び SBI Ripple Asia 株式会社（代表取締役 沖田 貴史）が事務局を務める「内外為替一元化コンソーシアム」へ参加することで、4月に合意いたしました。

ブロックチェーン関連技術は、FinTech における革新的な中核技術であり、金融機関システムの安定性向上や、柔軟で効率的なシステム構築の実現が期待されています。

当行では、お客様へのさらなるサービス向上のため、さまざまな取り組みを加速しておりますが、近年の ICT（情報通信技術）の革新的変化と顧客行動や社会生活の変化に伴う決済の 24 時間化・リアルタイム化や小額決済等の振り込みニーズの多様化とともに、越境 e コマースや日本企業のアジア進出によるポータレス化に対応するため、決済分野における新たな取り組みとして、本コンソーシアムに参加し、ブロックチェーン関連技術（分散台帳技術）を活用した新たな送金・決済サービスの検討を重ねてまいります。

<スキーム図>

